

第3回練馬区独立70周年記念誌編さん委員会会議要録

1 日 時 平成27年12月25日（金） 午後2時から3時30分まで

2 場 所 練馬区役所本庁舎5階庁議室

3 出席者

〈委員〉

斉藤委員長、高橋委員、矢島委員、永井委員、副区長、区長室長、企画部長、総務部長、地域文化部長、教育振興部長、区長室副参事（広報戦略担当）、文化・生涯学習課長、情報公開課長

〈JTB パブリッシング〉

制作担当 1名、営業担当 1名

〈事務局〉

情報公開課

【次第】

- (1) 選定事業者の紹介について
- (2) 企画提案書およびコンセプト案の確認について
- (3) 今後のスケジュールについて
- (4) 事務局より連絡事項

4 発言内容

〈委員長〉

開会挨拶

平成27年10月20日開催の編さん業務委託事業者選定委員会において、(株)JTB パブリッシングが優先事業者として選定されたことを報告

〈JTB パブリッシング〉

優先事業者に選定されたことの御礼と挨拶

続いて会社紹介および担当者紹介

〈JTB パブリッシング〉

編さん業務委託事業者選定委員会において提出された企画提案書および編さん委員会作業部会にてまとめた本誌コンセプト案についての説明

1) 本誌コンセプト案について

「練馬区独立70周年記念誌」の発刊コンセプトは、「歴史」（ヒストリー）、「現在」（練馬自慢）、「未来」（ビジョン）、「見て読んで面白く楽しめて使える」の4つの柱で構成し、本誌の役割を「知る」「考える」「創る」「遊ぶ」「発信する」「共有する」とした。また、制作する上で特に気をつけるべき事（コンセプト）は、以下のとおり。

- ① これまでにない周年記念誌
- ② 多くの区民の方に興味を持ってもらい、手に取って頂ける記念誌
- ③ 区内のまち歩きやポタリングが楽しめる、携帯可能な記念誌
- ④ 練馬区の魅力や歴史、文化を学ぶ事で、練馬区の未来を区民が共有できるもの
- ⑤ 単なる区からの情報発信ではなく、区民参加型となるもの
- ⑥ 10年以上継続して生き続ける冊子であること
- ⑦ 市販商品としてのクオリティを持ち合わせた、魅力あるもの

2) 提案書について

・本誌仕様

規 格：A4判縦

本 誌：212 ページ→家で読んで楽しめるもの

別 冊：32 ページ→るるぶサイズで街に持って行けるもの

電子媒体：5分で練馬の魅力・歴史が分かるパラパラ漫画を想定

・タイトル案

過去をガイドし、現在を紹介、未来をガイドする、またそれが一連の流れとなっているという意味で「練馬物語 ～Story～」とした。

・提案書の説明

「特集1」歴史（ヒストリー）は自分の住んでいる地域にはどのような歴史があったのか、地域を4～6に分割し、地域の変遷が一目で分かるような見開きで紹介する。

「特集2」現在の練馬の魅力・自慢できるところを紹介

「特集3」過去（歴史）は記念誌として必要な通史・年表など

「特集4」の未来については、委託事業者が勝手に制作する事ができないため、編さん委員会委員の皆様から練馬区としての未来像や意見等を伺いながら制作したい。

・区民参加型年代別会議について

70代から10代までの年代別会議を開催し、特集と特集の間の「コラム記事」として記事を制作したい。70歳には地域リーダーとして、練馬区の思い出を語ってもらう。60歳で定年退職した時が地域デビューの時だと考え、70歳を「地域のリーダー」という位置づけとした。50歳は「大人の練馬区の遊び方」、40歳は「なぜ練馬区にマイホームを購入したのか」など。30歳は地域のサークルやスポーツを楽しむ年代なので「ライフワークバランス」、20歳会議では大学生から「学生街としての練馬の魅力」、10歳では小学生から「子どもらしい視点からの練馬の未来」を聴き取る。

<委員長>

作業部会で議論してまとめた内容について報告すると、特集3（過去）の通史部分はコンパクトにまとめた作りとする。また特集1の「地域のヒストリー」の紹介において、地域をいくつに分けるのかは今後議論していきたい。

自分の住んでいるエリアを中心に理解してもらい、現在の練馬の魅力は何なのかを気付いてもらうために、地域の人を登場させてジャンル別にわかりやすく紹介する。

年代別会議は面白い企画だと思う。40代にマイホームをここに購入した理由、30歳にいまの関心事は何かなどを尋ねるのは興味深い。また「年代別会議」のコラムを特集の途中に挟む事で本誌全体の変化になる。

過去（歴史）と現在を未来にどうつなぐか、このメンバーを含めて、中味を検討していきたい。またこの提案内容について、各メンバーから意見をいただきたい。

<委員>

年代別会議は面白そう。80周年史でも続けて欲しい。練馬区の魅力の一つとして銭湯の紹介なども加えたらよいのではないか。昔ながらの商店街も残っており、個人的に無人野菜販売所巡りを楽しんでいる。身近に農業を感じる事ができ、農業と暮らしの接点が見えるのも練馬の魅力のひとつではないか。

自分のエリアと様々な事がリンクされて、まちの様子が見えてくるのが楽しみ。

<委員>

昭和30年代から練馬に住んでおり、写真を撮っている。過去と現在の比較が出来る写真が多数あるので編さん委員の皆様にも見てもらいたい。練馬の発展の歴史や石神井公園に植樹した樹木が30年後に成長しているのもわかる。

<委員>

写真は電子媒体のパラパラ漫画にも使えるのでは。うまく取り込みたい。

<委員>

写真を拝見した。ある地点の写真を同じ角度で時代を変えて撮影されているので、とても興味深くてよい。

<委員>

記念誌の役割として、区政のドキュメント・歩み・記録を後世に伝えるものとしているが、今回の記念誌はビジュアル的な作りでよいか。

<委員>

これまでのようなしっかりとした物は、今後の周年誌発行の際に作っていききたい。今回はビジョンを発行したこともあり、練馬の未来をイメージさせるような作りにしたい。

<委員>

別冊の中味について説明を。

<JTB パブリッシング>

現在の地図に昔の情報を重ねていく地図、実際に持ち歩きできる実用的なものを想定している。どのような内容の地図にするか、今後資料等を確認しながら決定していきたい。

<委員>

市販を想定しているという事だが、定価はどのくらいにするのか。また、別冊は本誌とセットで販売するのか。

<JTB パブリッシング>

別冊と本誌はセットで販売をする。定価については市場価格を調査しながら決定していきたい。例えば、渋谷区の記念誌は3,000円だが、区民に買ってもらえるような内容・定価にしたい。

<事務局>

60周年史「ねりま60」の定価は2,500円。

<委員>

これから検討する事項も多くあるが、現時点では別冊に関しては昔の様子を発見できるような地図にしたいと考えている。

<委員>

年代別会議が非常によい。地域ごとの多彩なスポーツ・文化活動などを知ってもらうことや、専門誌からの脱却を目指す点もよい。小学生の副読本的なエッセンスも入っており親しみやすいのでは。

<委員>

未来志向も必要だが、歴史についても押さえるところは押さえてほしい。練馬区が独立した時の話を当時の方々にインタビューで紹介してもよいのでは。今までと違うというコンセプトは画期的でよい。

<委員>

例えば、別冊地図のある場所にスマートフォンをかざすと、その場所の昔の様子が画面に出てくるような仕掛けになっていると面白い。

<JTB パブリッシング>

技術的には可能。ただし、今回の予算の中では難しい。発刊の頃には更に技術も進化しているはず。別途ご検討いただきたい。

<委員>

「年代別会議」70歳会議の対象者は70年間練馬に在住している人なのか。あるいは年齢が70歳の人でよいのか。

<JTB パブリッシング>

現時点では未定だが、70歳会議では練馬に長く住んでいる方に昔の練馬を語ってもらいたい。40歳、30歳については他の地域から移ってきた人にするなど、その年代に応じて変えてもよいと考えている。

<委員>

議題やテーマによってターゲットを変えたい。またそれぞれの年代に「練馬区の未来ビジョン」も聞いてほしい。また、矢島委員提供の写真がとても面白い。「特集1」のヒストリーでも使えるのでは。練馬区では昭和30年代まで蛍を見ることができた。こうした内容についてもインタビューしてほしい。

<委員>

色々な人にインタビューして掲載すれば、本誌を購入してもらえ、販売促進につながる。

<委員>

電子媒体はホームページに掲載するのか。

<JTB パブリッシング> : DVDにするか、ホームページからダウンロードする形式にするのかは、今後予算との関係も考慮して決定していきたい。また技術的にはデジタルサイネージで使用する事も可能なので、楽しく練馬区の歴史がわかるような物を作りたい。

<委員>

本誌の販売促進費は委託料に入っているか。

<JTB パブリッシング>

書店販促用に「事前注文チラシ」「陳列ビラ」などの制作を予算内で行う予定。

<委員>

コンペでは JTB パブリッシングの販促策が高く評価された。次にスケジュールの説明を。

<JTB パブリッシング> スケジュール表に基づき説明

【平成 27 年度】

- ・ 1 月 第 3 回作業部会に特集内容及び台割（案）を提出
- ・ 2 月 23 日 第 4 回編さん委員会に本誌「特集内容」「台割」「掲載物件」等を提出

【平成 28 年度】

- ・ 4 月から取材・執筆を開始し、第 5 回編さん委員会に一部デザインが組み上がったものを提出
- ・ 第 6 回編さん委員会において初校原稿の確認

【平成 29 年度】

- ・ 第 7 回編さん委員会において再校原稿の確認
- ・ 8 月 1 日の独立記念日にあわせて納品

<事務局>

今回の第 4 回編さん委員会ではページ割を決定し、29 年 1 月初校原稿の確認、29 年 4 月再校原稿の確認、29 年 7 月校了、8 月販売。以上のスケジュールにて決定したい。

<委員>

最後にもう一度、コンセプトシートの内容確認をする。歴史を今昔の形で表現し、興味を引く作りとする。未来へのブリッジを持って昔を紹介。現在の練馬の魅力をジャンルで紹介。区民参加というキーワードで年代別会議や今の生の声、「練馬っていいね」といった内容を取り上げる。また、読んでもらえるような未来像を考えていく。

<委員>

「みどりの風吹くまちビジョン」は行政計画であるため、表現方法を違った形で紹介してほしい。

5 事務局連絡事項

今回の第 4 回編さん委員会は 2 月 23 日（火）10 時～11 時 30 分、庁議室にて開催の予定。意見やアイデア等があれば随時事務局まで。

以上